

第4分科会 研究課題 「学校の組織・運営に関する課題」
 研究主題 「あらゆるハラスメントのない職場づくり」
 副題 ～コンプライアンス推進上の教頭の役割を考えて～
 延岡支会1班

1 主題設定の理由

ハラスメントを予防することは、子どもの人権を守ること、教員の生活を守ることにつながる。では、どうすれば、勤務校からハラスメントがなくなるのか。

ここ10年間の宮崎県内の不祥事件数は平成23年度27件から令和2年度4件と激減している。校内コンプライアンス研修を重ねてきた教頭として、そのことには安堵する。しかし、量定別発生状況では「免職」事案が10年間で一度もゼロの年はない。また、令和3年度に延岡市で2件起こったわいせつ行為事案に関しては、過去10年間の中で1年間に2件も起きたことがない。これは気を引き締める事案である。

このわいせつ行為が本市だけでなく全国で大きな課題になっていることは、令和3年5月「教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が制定されたことでも分かる。

宮崎県の過去10年間の年度別懲戒処分発生件数を見ても、平成25年は20件であったものが、令和4年度には3件と明らかに減少しているのがわかり、効果が顕れているのがわかる。

そこで、教員の信頼が失われ、ハラスメント行為によって仲間を失うこと为了避免るために、教頭としてさらにコンプライアンスを推進することが重要になると考え、本主題を設定した。

2 研究のねらい

各中学校の現状を把握し、研修方法等を教頭会で研究することを通して、コンプライアンス意識を高め、あらゆるハラスメントのない職場づくりを目指す。

3 研究の概要と成果

(1) 研究の仮説

各校のコンプライアンスチェックシートを考察し、高評価Aが100%に近づくような研修方法を実践することで、集団のコンプライアンスに対する意識が高まり、ハラスメントがなくなるであろう。

(2) 研究の実践

① コンプライアンスチェックシートの考察

ア 令和3年度

令和3年8月に調査した14校292名の教職員が高い意識のもと遵守しているのは、「ライセンスの更新」である。反対に意識が低いのは、「個人情報」と「交通法規の遵守」になる。「交通法規の遵守」においては、自家用車通勤者が多く、命に関わる重要な項目であるが、自分が不祥事を起こすことではないという慢心もあるのかもしれない。

令和3年度 チェックシート前期集計【14校292名】					
	A：よくあてはまる	B：少しあてはまる	C：あまりあてはまらない	D：全くあてはまらない	
1 身体的接触	不必要な身体的接触や性的なからかい・冗談など、相手の嫌がるセクハラは絶対に行わない	272 93.2%	20 6.8%	0 0.0%	0 0.0%
2 ライセンス	運転免許や教員免許の更新を確実に行う	289 99.0%	3 1.0%	0 0.0%	0 0.0%
3 飲酒	飲酒の際は、翌朝お酒が残らないように、飲む量には十分注意し、飲み会には、卓上で行かないよう努める	266 91.1%	26 8.9%	0 0.0%	0 0.0%
4 人間関係	職場の人間関係を良好に保ち、精神的・身体的苦痛を与えるハラスメントは絶対に行わない	255 87.3%	35 12.0%	2 0.7%	0 0.0%
5 個人情報	スマホ・タブレット等に児童生徒の写真や成績等の個人情報を入れず、情報をモラルをしっかりと守る	207 70.9%	72 24.7%	13 4.5%	0 0.0%
6 体罰・暴言	殴る・胸ぐさをする・かかむ・押す・脚等での暴力や感情的な罵詈を吐くことは、いかなる場合に行わない	234 80.1%	52 17.8%	6 2.1%	0 0.0%
7 SNS	SNS等で、児童生徒との私的メールのやりとりは原則として行わないわす。相談は学校での直接接觸で行う	284 97.3%	8 2.7%	0 0.0%	0 0.0%
8 予算	予算執行や給食費・部活動費の金額の出し入れにおいては、現金を一人で管理しない	266 91.1%	25 8.6%	1 0.3%	0 0.0%
9 運転	車を運転する際には、交通法規を遵守し、交通事故・違反を起こさないように十分注意する	212 72.6%	76 26.0%	3 1.0%	1 0.3%

イ 令和4年度

令和4年度については、高評価Aを100%にする取組を行ったこともあり、「1身体接触・2ライセンス・7SNS」が特に高評価を記録した。やはり評価が低いのが、「5個人情報・9運転」であるが、令和3年度と比較すると高評価Aが10ポイントほど伸びている。個人情報のD0.4%が少し気になる。延岡市内各中学校教頭が、職員会等で意識付けを行い、夏季休業中に事例研を積極的に行ったことが好結果と繋がったのではないだろうか。

R 4教職員コンプライアンスチェックシート(前期集計結果)【13校227名】					
	内 容	A	B	C	D
1 身体的接触	不必要な身体的接触や性的なからかい・冗談など、相手の嫌がるセクハラは絶対に行わない	224 98.7%	3 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
2 ライセンス	運転免許や教員免許の更新を確実に行う	225 99.6%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%
3 飲酒	飲酒の際は、翌朝お酒が残らないように、飲む量には十分注意し、飲み会には、卓上で行かないよう努める	217 95.6%	10 4.4%	0 0.0%	0 0.0%
4 人間関係	職場の人間関係を良好に保ち、精神的・身体的苦痛を与えるハラスメントは絶対に行わない	219 96.5%	8 3.5%	0 0.0%	0 0.0%
5 個人情報	スマホ・タブレット等に児童生徒の写真や成績等の個人情報を入れず、情報をモラルをしっかりと守る	182 80.2%	39 17.2%	5 2.2%	1 0.4%
6 体罰・暴言	殴る・胸ぐさをする・かかむ・押す・脚等での暴力や感情的な罵詈を吐くことは、いかなる場合も行わない	208 91.6%	19 8.4%	0 0.0%	0 0.0%
7 SNS	SNS等で、児童生徒との私的メールのやりとりは原則として行わないわす。相談は学校での直接接觸で行う	226 99.6%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%
8 予算	予算執行や給食費・部活動費の金額の出し入れにおいては、現金を一人で管理しない	220 96.9%	6 2.6%	1 0.4%	0 0.0%
9 運転	車を運転する際には、交通法規を遵守し、交通事故・違反を起こさないように十分注意する	194 85.5%	32 14.1%	1 0.4%	0 0.0%

ウ 令和5年度

令和5年度について評価が高いのは、「2ライセンス・7SNS・8予算」である。予算について、今年度が高かったのは、県内で予算執行に関わる事例があったことで、職員の意識が高まつたのではないかと考えられる。令和4年から引き続き評価が低いのが、「5個人情報・9運転」である。また、「1身体接触・3飲酒・4人間関係」共に5ポイント程度低下している。評価が著しく低下はしていないが、令和3年度～5年度にかけて、「5個人情報」が、R3-70%→R4-80%→R5-71%と上下している。

R5教職員コンプライアンス研修集計結果 延岡市内中学校 16校300名									
	内 容	A よくあてはまる	B 少しあてはまる	C あまりあてはまらない	D 全くあてはまらない	人數	人數	人數	人數
1 身体的接触	不必要な身体的接触や性的なからかい・冗談など、相手の嫌がるセクハラは絶対に行わない	275	92%	21	7%	2	1%	0	0%
2 ライセンス	運転免許や教員免許の更新を確実に行う	296	99%	3	1%	0	0%	0	0%
3 飲酒	飲酒の際は、翌朝お酒が残らないように、飲む量には十分注意し、飲み会には、車で行かないよう努める	270	90%	30	10%	0	0%	0	0%
4 人間関係	職場の人間関係を良好に保ち、精神的・身体的苦痛を与えるハラスマントは絶対に行わない	274	92%	24	8%	0	0%	0	0%
5 個人情報	スマホ・タブレット等に児童生徒の写真や成績等の個人情報を入れず、U.S.S等記録媒体の管理を適切に行なうとともに情報セキュリティをしっかりと守る	213	71%	77	26%	10	3%	0	0%
6 体罰・暴言	殴る・蹴ぐらをつかむ・押し倒す等の体罰や感情的な暴言をさせることは、いかなる場合も行わない	268	89%	30	10%	2	1%	0	0%
7 SNS	SNS等で、児童生徒との私的メールのやりとりは原則として行わず、相手は学校での直接面接で行う	294	98%	6	2%	0	0%	0	0%
8 予算	予算執行や給食費・部活動費の金額の出し入れにおいて、過誤・誤金一人で管理せずに、校長の下、組織で厳正に管理する	284	95%	12	4%	2	1%	0	0%
9 運転	車を運転する際には、交通法規を遵守し、交通事故・違反を起こさないように十分注意する	246	82%	50	17%	4	1%	0	0%

エ 令和6年度

令和6年度についても、令和5年度に引き続き評価が高かったのは、「2ライセンス・7SNS・8予算」である。ただし、この3項目に関しては、A評価が増加し、B評価が減少している。令和4年から5年度にまで評価が低いのが、「1身体接触・3飲酒・4人間関係・5個人情報・9運転」であったが、前者同様A評価が増加し、B評価が減少しており、C評価がなくなっている項目もある。このように、各学校での様々なコンプライアンスの取り組みが、職員及び学校全体の意識を高めていると考えられる。

R6教職員コンプライアンス研修集計結果 延岡市内中学校 16校246名									
	内 容	A よくあてはまる	B 少しあてはまる	C あまりあてはまらない	D 全くあてはまらない	人數	人數	人數	人數
1 身体的接触	不必要な身体的接触や性的なからかい・冗談など、相手の嫌がるセクハラは絶対に行わない	225	91%	18	7%	3	1%	0	0%
2 ライセンス	運転免許や教員免許の更新を確実に行う	243	99%	3	1%	0	0%	0	0%
3 飲酒	飲酒の際は、翌朝お酒が残らないように、飲む量には十分注意し、飲み会には、車で行かないよう努める	224	91%	22	9%	0	0%	0	0%
4 人間関係	職場の人間関係を良好に保ち、精神的・身体的苦痛を与えるハラスマントは絶対に行わない	228	93%	18	7%	0	0%	0	0%
5 個人情報	スマホ・タブレット等に児童生徒の写真や成績等の個人情報は入れず、U.S.S等記録媒体の管理を適切に行なうとともに情報セキュリティをしっかりと守る	189	77%	49	20%	8	3%	0	0%
6 体罰・暴言	殴る・蹴ぐらをつかむ・押し倒す等の体罰や感情的な暴言を吐くことは、いかなる場合も行わない	217	88%	29	12%	0	0%	0	0%
7 SNS	SNS等で、児童生徒との私的メールのやりとりは原則として行わず、相手は学校での直接面接で行う	244	99%	2	1%	0	0%	0	0%
8 予算	予算執行や給食費・部活動費の金額の出し入れにおいて、過誤・誤金一人で管理せずに、校長の下、組織で厳正に管理する	239	97%	6	2%	1	0%	0	0%
9 運転	車を運転する際には、交通法規を遵守し、交通事故・違反を起こさないように十分注意する	208	84%	36	15%	3	1%	0	0%

エ 令和3年度から令和6年度にかけての考察

(ア) 成果

データをとった4年間高評価を維持してきたのが、「2ライセンス・7SNS・8予算」である。また、A・B評価の割合が年度を追うごとに伸びていることと、C・Dの評価が下がっていることが挙げられる。特に令和5・6年度は、Dが0%となりCも年度を重ねるごとに減少している。これは、宮崎県や延岡市の主催するコンプライアンス研修を受けて、各学校で具体的に研修をした効果が顕れたと考えられる。学校によっては、服務規律振り返りを毎月行うことや県コンプライアンス通信の読み合わせをする学校もある。

(イ) 課題

令和3年度から6年度の4年間のコンプライアンスの調査を通して、1身体的接触、3個人情報、10運転(交通違反)についてC項目が依然として残っている。教員の中にこの3項目について、ふとしたときに心の隙間にに入られる余地があることが考えられる。

4 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

- ① 延岡市内の教頭が共通してコンプライアンス研修を行うことにより、市内の共通認識ができた。
- ② これまで本市の課題であった「5・個人情報」「9・運転」の項目について、A項目を増やし、B・C項目を減らすことができた。全項目に関してD項目がなくなった。
- ③ コンプライアンス研修を通して、個々の職員の意識高揚が図られた。

(2) 研究の課題

- ① 評価が高くなってくることによって、これまで行ってきた注意が散漫となり、コンプライアンスの意識が低下していくことが懸念される。
- ② 仮にアンケート結果が100%になったとしても何か一つの事案が発生すればアンケートの数値は何の役にも立たなくなってしまう。事案を発生させないために、「私たちにできることは何か」を考えることが必要である。